



2023年度子どもの権利・全国イベント

# ネットにあふれる 子どもたちの声

— 子どもシェルター「るーも」開設10周年 —

子どもシェルター「るーも」は、開設10周年を迎えます。  
SNSやゲーム等のインターネットに関連する問題を中心に現在の子どもたちを取り巻く状況について学び、子どもたちをどのように支えていくことができるか、一緒に考えてみませんか。

先着380名  
予約不要  
参加無料

令和5年10月3日(火) 午後1時～4時30分まで  
開場/午後0時30分

場所 和歌山城ホール小ホール

主催 和歌山弁護士会 / 特定非営利活動法人子どもセンターるーも

後援 (予定) 日本弁護士連合会 / 和歌山県 / 和歌山市 / 和歌山県教育委員会  
和歌山市教育委員会 / 和歌山県社会福祉士会 / 和歌山県臨床心理士会  
和歌山県児童福祉施設連絡協議会 / 子どもシェルター全国ネットワーク会議

連絡先 (特非)子どもセンターるーも事務局 TEL.073-425-6060  
〒640-8276 和歌山市作事丁38番地





インターネットや SNS の普及により、子どもたちが容易に情報にアクセスできるようになった一方、子どもたちがインターネットや SNS を利用する中で犯罪に巻き込まれたり金銭トラブルが生じたりすることも増えました。また、インターネットや SNS を通じて、子どもたちが SOS を発していることもあります。それぞれの立場で子どもに関わる活動をしておられる講師の方々をお招きし、我々大人たちができることを一緒に考えていきましょう。

## 1. 「子どもシェルター一も10年間の歩み」

子どもセンター一も理事・事務局 伊藤あすみ

### Profile

弁護士

和歌山弁護士会子どもの権利委員会副委員長

特定非営利活動法人子どもセンター一も理事・事務局



### 子どもシェルターとは

本来、子どもは家庭で育つ権利を持っています。

しかし、虐待や非行など様々な理由によりその権利を奪われ、家庭で暮らすことができない子どもがいます。子どもシェルターは、そのような子どもを一時的に保護し、安心して安全な生活を提供する緊急避難場所です。

子どもシェルターでは、家庭的な雰囲気のもと、子どもをひとりぼっちにせず、常に子どもを中心に、子どもの生きる力を蓄えることを目指しています。

和歌山では、平成25年10月に子どもシェルター一もを開設し、これまでに100名を超える子どもを受け入れ、次の居場所へ送り出してきました。全国的にも、子どもシェルターは広がりを見せており、各地で子どもシェルターを開設する動きが進んでいます。

このシンポジウムを通して、子どもシェルターの存在や活動内容を広くみなさんに知っていただけたら嬉しいです。

## 2. 「和歌山弁護士会子ども電話相談に関する報告」

和歌山弁護士会子どもの権利委員会委員



## 4. 「和歌山県の子どものインターネット利用状況」

和歌山県環境生活部県民局 青少年・男女共同参画課、特定非営利活動法人 和歌山IT教育機構

和歌山IT教育機構は、和歌山県民に対して、コンピュータソフトウェア技術者を育成するための事業を行い、和歌山県内のコンピュータ関連会社の発展と、それを活用した地域経済の発展に寄与することを目的とする、特定非営利活動法人です。

携帯電話、スマートフォン、オンラインゲーム等の発展により、青少年にとってもインターネットを通じた交流が一般的になるなか、青少年にとってはネット利用がリスクになる側面は見逃せません。青少年のオンラインの交流に伴うリスクを早期に発見することで、被害発生の未然防止に努めています。

## 3. 「ネット依存相談から見た子どものメンタルヘルス」

鳥取県精神保健福祉センター所長 原田豊 氏

### Profile

1957年 大阪市生まれ。鳥取大学医学部卒業。同大学院を経て、鳥取大学医学部附属病院精神科神経科、国立療養所鳥取病院（現、鳥取医療センター）等に勤務。

1991年より現職。

## 5. 「子どものSOS救済機関の実践」

特定非営利活動法人子どもソーシャルワークセンター 理事長 幸重忠孝 氏

### Profile

社会福祉士。児童養護施設職員、大学教員を経て、幸重社会福祉士事務所を設立。

### 子どもソーシャルワークセンターとは

虐待・貧困・ヤングケアラーなど家庭でしんどさを抱える子や若者、不登校・いじめなど学校でしんどさを抱える子を地域の居場所としてサポートしています。